

ひるの星

No. 261

もくじ	
バハオラの言葉.....	2
聖なる場所.....	3
クイズ.....	8
ぬり絵.....	9
みんなの 写真	11
保護者の ページ	12

みめぐ
御恵みある

ち いえ ばしよ
この地、この家、この場所、こ

まち こころ やま かく
の町、この心、この山、この隠れ

が ほらあな たに だいち
家、この洞穴、この谷、この大地、

うみ しま そうげん
この海、この島、この草原

かみ な の
神の名が述べられ

かみ さんび うた ち
神の賛美が謳われる地

しゆくふく
祝福 されん

バハオラ

世界の礼拝堂

暖かい春の日でした。沖縄の5人のきょうだいは、両親と那覇の首里城を訪ねました。城を出るとき、お父さんが城の聖なる石の門の説明をしました。



「聖なるとは、どういう意味なの？」とアニサが不思議そうに聞きました。

「アニサ、聖なるとは、神様を感じられることだよ。」とアスマが答えました。

「神様がかくれんぼしているの？」とアニサが驚いて叫びました。他の子たちは大笑いしました。アニサは泣きだしそうになりました。お母さんが慰めて、他の子たちに顔をしかめて、たしなめました。

「アニサ、神様を見ることはできないけど、近くに感じられるということなんだ。愛も見えないけど、感じられるだろう？だから、聖なる場所ではお祈りして、神様や見えない精神界を近くに感じるんだ。」とアスマがやさしく説明しました。

「ちょうど、お墓参りに行って、お祈りして亡くなった人を近くに感じるようなものね。」とシャラが言いました。

「その通り！」とお母さんが答えて、「神様を感じるように礼拝する所は、他にどこにあるかしら？」と聞きました。

「礼拝とはお祈りすることだろう？お母さん？」とリアズが聞きました。

「そうよ。礼拝は、お祈りして神様にお願いしたり、感謝して称えたりすることなのよ。」とお母さんが答えました。

「なるほど、わかった。仏教徒がお祈りする所は、お寺だ！」とアスマが言いました。

「そうか。他には神社がある。お祭りとかの行事があると、お参りした人は、おさい銭を投げて手を合わせて、何かお願いするように祈



っているみたいだ。神様に話しかけているんだよ、きっと。」とリアズが言いました。

「それから、教会があるわ。クリスチャンは日曜日には教会に行って礼拝をしているわ。」とモナが言いました。

「教会にもカトリック、ルーテル、モルモン教会といろいろあるよ。」とアスマが付け加えました。

「でも、みんな、同じ神様に礼拝しているのよ。」とお母さんが言いました。

「たとえ、誰かが、そう思っていないなくてもね。」

「そうよね。イスラム教の礼拝堂のモスクで毎日5回も祈っているのも同じ神様に祈っているのね。」とモナが言いま



した。モナは社会科でイスラム教のことを習ったばかりでした。

「ユダヤ教徒はどこで神様に礼拝するか知っている？」とお母さんが聞きました。

「知っている。知っている！」と言ってリアズが答えました。「それはシナゴークだよ。」

「その通り！リアズ！」とお母さんが驚いたように言いました。

「お母さん、そんなに驚かなくていいよ。おれだって、たまには子どもクラスでちゃんと習っているんだから。」とリアズが、はがゆいように言いました。そうこう話しているうちに、みんな、駐車場に辿り着きました。そしてワゴン車に乗り込んで家に帰る準備をしました。

「他にはどんな聖なる場所があるかしら？ヒンズー教の人たちはどうかしら？」とお母さんが前の席から聞きました。子どもたちはただ顔を見合わせるだけでした。お母さんは助け舟を求めて、お父さんの方を見ました。

「その人たちにも仏教徒のようにヒンズー教の寺院があるよ。」とお父さんが答えました。お母さんが続けて、

「このように、どの宗教にも礼拝する所があって、そこがみんなのお祈りが集まる中心になるのよ。ちょうど虫めがねが太陽の光を集めて一点に集中するようにね。そこに火が点くように、祈りが一点に集中すると、そこから世界中に火の手が上がるのよ。そして世界を変えるのよ。」

「わーお！」と子どもたちは、とても感動して叫びました。

「古代から世界中にそのような精神的エネルギーが集中する所があったのよ。他にはどこにあるかしら？」

「私、学校でイギリスのストーン・ヘンジというのを習ったわ。とても古い礼拝所らしいわ。」とモナが答えました。

「オーストラリア原住民には礼拝する聖なる山があるらしいよ。」とリアズが言いました。オーストラリアの友だちから最近ブーメランをもらって、原住民の文化を習ったばかりでした。

「そう言えば、アメリカインディアンにも、アメリカ中に聖なる場所があるのよ。西部劇で見たことがあるでしょ！！」とシャラが言いました。

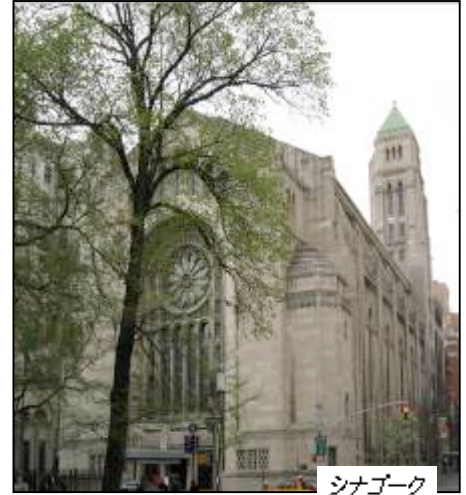
「そうよ。ポカホンタスにもあるよ！！」とアニサが叫びました。

「ポカホンタスのおばあちゃんになったような、聖なる木が出てきたよ！」子どもたちは、みんな笑ってしまいました。

「アニサ、それはディズニーのアニメで、本当の話じゃないんだぞ！」とリアズがいじわ



モスク



シナゴーク



ヒンズー寺院



ストーン・ヘンジ



ハワイ、マウイ島の聖なる火山、ハレアカラ

るそうに言いました。

「でも、考え方としては、当たっているのよ。アニサ！」とお母さんが慰めるように言いました。

「さてと。」と言って、お母さんが続けました。「誰か、バハイの礼拝堂のことを知っている？」

「九つの入り口があって、屋根は円形のドームになっているんだらう？」とリアズが答えました。

「バハイの礼拝堂は、バハイから世界の人々への贈りものなのよ！」とシャラが誇らしげに言いました。

「つまり、九つの入り口は、どの宗教の人にも開かれているという意味なんでしょう？お母さん？」とモナが言いました。

「どうやら、子どもクラスで、みんな習ってきているようね。みんなが言った通りよ。」とお母さんがうれしそうに言って、もう少し説明しました。

「それから、丸天井のドームは一つの神様に礼拝するという意味だと思うわ。」

「バハイの礼拝堂はアラビア語でマシュレゴウル・アズカルというんだよ。」とアスマが誇らしげに言いました。

「それは何か意味があるの？」とアニサが聞きました。

「神様の御名が唱えられる夜明けになる場所という意味だよ。」とアスマが答えました。

「そこに集まった人々の神様を称える祈りが、夜明けに太陽が昇るように、世界を明るく照らしていくということよ。」とお母さんが説明しました。

「100人の一人一人がお家でお祈りすれば、それは100のお祈りですよ。でも、その100人が礼拝堂に集まって10人の祈りを聞けば、100×10で1000となるですよ。その精神的エネルギーはすごいですよ。」

「バハイの礼拝堂では、お説教というようなものは、ないんだよね。お母さん。お祈りや聖なる書簡を読み上げるだけだったよね。」とアスマが言いました。

「その通りよ。アスマ。」と言って、お母さんが続けました。「仏様、キリスト、モハメットやバハオラのような神の顕示者から伝えられる神の言葉が語られるだけなのよ。」

「礼拝堂の周りには、学校や孤児院や老人ホームのようなものができるんでしょう？お母さん？」とモナが聞きました。

「ええ、その通りよ。」とお母さんが答えました。モナが続けて、

「もともと、礼拝堂はただお祈りするだけではなく、生活に必要な教育、社交の場、物質的なことにも神様に感謝する所となっているのよね。」



エジプトのアモン寺院



ウガンダのバハイ礼拝堂



ナヴァホ・インディアンの聖なる山
シップ・ロック

「わあー、バハイの礼拝堂のことを、そこまで知っているなんて、すごい！モナ！」とお母さんが感心して言いました。

「最初のバハイ礼拝堂のことを、誰か知っている？」

「アメリカの礼拝堂が最初かなあ？」とモナがためらいながら答えました。

「ちがうよ。ロシアにあったのが最初だと思うよ。だけど、共産主義政府に没収されたんだ。その後、台風か地震か何かで壊れてしまったらしいよ。」とアスマが興奮して言いました。

「そうよ、それはイシカバドいうところにあったのよ。1908年に建てられた最初の礼拝堂ということで特別なよ。それから次に有名なのが1958年に完成したアメリカのシカゴ近くにある礼拝堂ね。みんな知っているように、ロシアとアメリカは長い間、とても仲が悪かったでしょ。もう少しで戦争するくらいにね。でも、そうならなかったのは、この二つの礼拝堂の強い精神的エネルギーのおかげだと思うわ。」とお母さんが言いました。

「今は、それぞれの大陸にバハイ礼拝堂があるけど、将来は、それぞれの国に、その後、市や町にできるでしょう。」とモナが言いました。

「お母さんはね、日本に来て、みんなのお父さんと出会う前は、パプア・ニューギニアに住んでいたのよ。そこにバハイ礼拝堂ができたなら、それを見たいなあーと、思

っているの。」とお母さんが言いました。

「そうか。おれはドイツにあるのを見たいなあー。」とアスマが言いました。

「私はインドのを見たいわ！はすの花の形がきれいだもの！」とシャラが言いました。

「おれはオーストラリアのシドニーのを見たいなあー！カンガルーも見たいし！」とリアズが言いました。

「みんな、いい心がけね。神様がその夢をかなえてくださいますように！」とお母さんがうれしそうに言いました。

「私だったら、沖縄のを見たいけど！」とアニサが言いました。

「何を言っているのよ。アニサ、沖縄には、まだないのよ。」とシャラが言いました。

「知っているけど、いつかできるはずよ。そのとき、どうしても見たいのよ！」とアニサが目を輝かせて言いました。

「その夢がかなうといいわね。」とお母さんがにっこりして言いました。

「みんな、あそこを見てもろよ！」とリアズが指さして叫びました。

「おれたちが見たこともないような、きれいな公園があるぞ。あの辺にバハイ礼拝堂がで



イシカバドのバハイ礼拝堂



シカゴのバハイ礼拝堂

きるかも知れない。車を停めて！お父さん！あそこで、おれたちを遊ばせて！。。。お願い！」

子どもたちが一斉に「お父さん、お願いしまーす！」と叫びました。お父さんが、お母さんの方に目をやると、お母さんはにっこりして、うなずきました。お父さんは公園の方に向かって車をもどして、駐車場に入りました。子どもたちは、大喜びで、広い海が見える、その美しい公園に飛び込むように消えて行きました。



フランクフルトのバハイ礼拝堂



シドニーのバハイ礼拝堂



ニュー・デリーのバハイ礼拝堂



パナマのバハイ礼拝堂



サエアのバハイ礼拝堂



チリのバハイ礼拝堂

クイズ

1. 5人の子の家族はどこを訪ねましたか？

2. 仏教徒はどこで礼拝しますか？

3. ユダヤ教の礼拝堂は何と言いますか？

4. イスラム教徒は一日に何回お祈りすることになっていますか？

5. イスラム教の礼拝堂は何と言いますか？

6. キリスト教徒はどこで礼拝しますか？

7. アメリカ・インディアンのような原住民はどこで礼拝しますか？

8. バハイ礼拝堂には入口がいくつありますか？

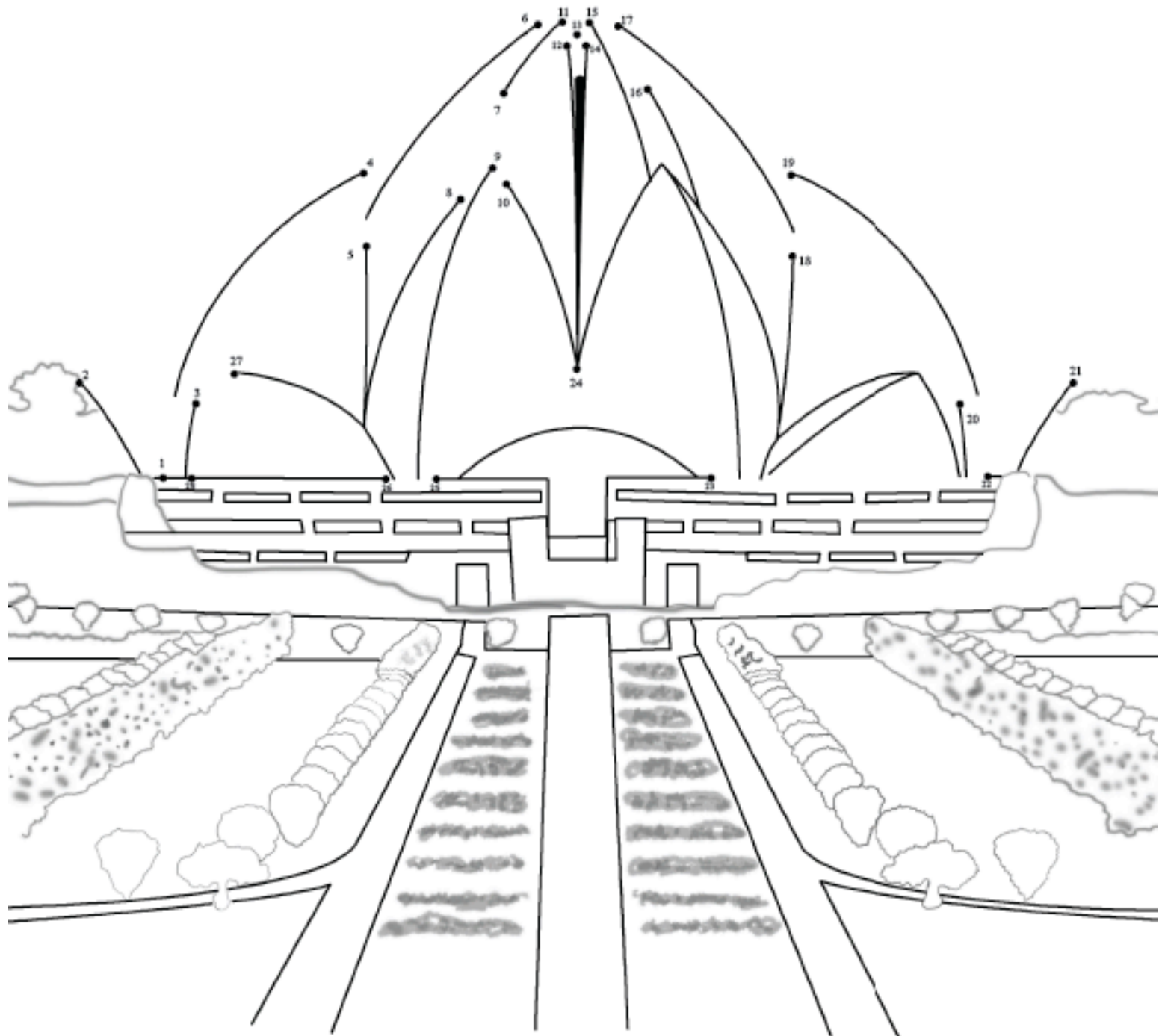
9. バハイ礼拝堂の屋根はどのようになっていますか？

10. 宗教がちがう礼拝堂で、神様の呼び名がちがっても、同じ神様に祈っているのでしょうか？

どうでしたか？全部答えられましたか。答えは保護者のページのお話のあと
にあります。



ぬり絵



礼拝堂を作ろう

今回のアートは、いつものアートページで行っているものとはちょっと異なります。今回のお題は、「自分たちで材料を考えて礼拝堂を作ってみよう！」というものです。そして、みなさんで考え出したアイデアを写真に撮って、送ってください。



材料

九つ星の絵

九つ星のクッキーの型抜き

カッター

粘土

アルミニウムホイル

発泡スチロール容器

絵の具

クレヨン

はさみ

テープ

ハイプクーリナー

つまようじ

工作用紙

(その他、どんな材料でも構いません。)



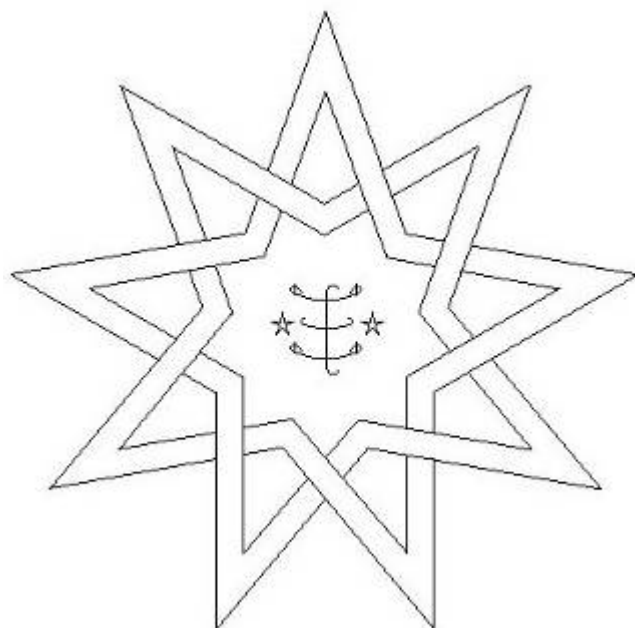
方法

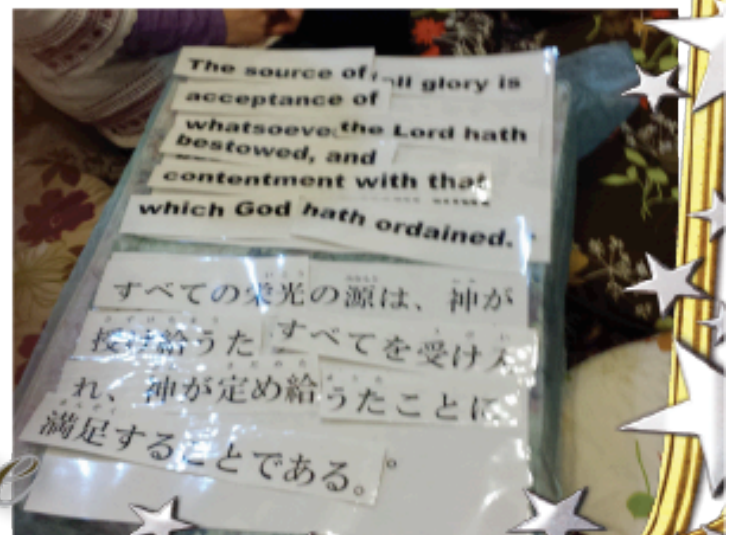
九つ星を使って、紙コップや発泡スチロール容器、または粘土に九つの印を描いてください。そして、九つの面からなる礼拝堂を作ってみてください。自分の町にこんな礼拝堂があったらいいなと想像しながら、作ってみてください。

※どんな素材を使用してもかまいません。

※画用紙の上に、作った礼拝堂を置いて、その周りにきれいなお庭を作りましょう。

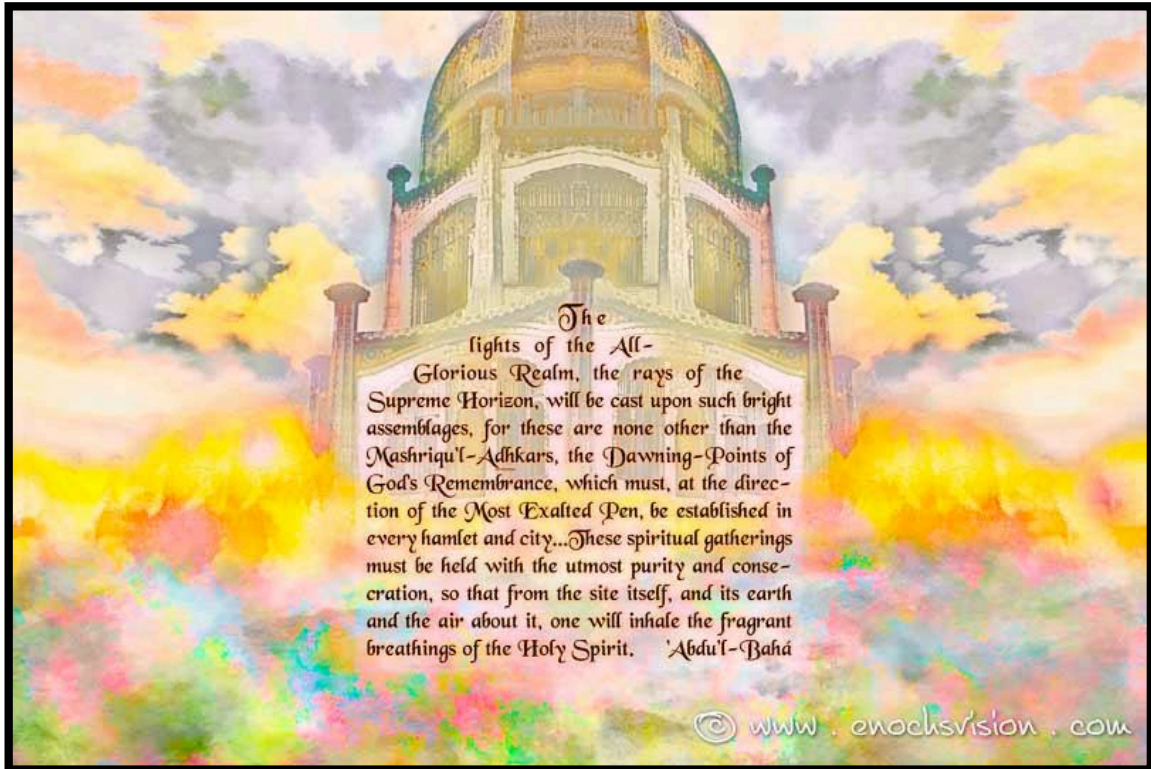
※出来上がったものを写真に撮って、送ってください。次回号に掲載したいと思います。





Photopage

保護者のページ



「最も栄光ある神の王国の光、至高の地平線の光線は、まぶしく輝くような、そんな集りに投げかけられるであろう。というのは、これらの集りはマシュレゴウル・アズカル、すなわち神の記憶の夜明けの地点にはかならないからである。それは最も高貴なペンの指示により、すべての集落や都市に設置されなければならない。これらの精神的集まりは、最高の純粋さと神聖さで催されなければならない。そうすれば、その場所、またその地、その辺りの空気から、人は聖霊の芳しい香りの息吹を吸いこむであろう。」

アブドル・バハ



No. 261

2015年3月発行

BE172 バハ

ひるの星をカラー印刷するには以下のリンクにアクセスしてください。

<http://hirunohoshi.weebly.com/>

日本バハイ全国精神行政会

〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目2番13号

電話：03-3209-7521 FAX：03-3204-0773

ひるの星委員会：グレン・ロウ、バウデンカービー真己、平原静志、平原ルアナ

物語：平原ルアナ

和訳：平原静志

ぬり絵：グレン・ロウ

写真：ウィキペディア、平原ルアナ、イヴァ・尊田、グレン・ロウ

さし絵、平本かおり、スティーヴ・パスカル、グレン・ロウ

テクニカルアドバイザー：グレン・ロウ

監修：平野祐一